

第1号議案 平成26年度 事業計画
(平成26年4月1日より平成27年3月31日まで)

1. 郷土芸能に関する発表会の開催

(1) 全国こども民俗芸能大会

第16回「全国こども民俗芸能大会」を平成26年8月5日(火)に東京都新宿区の日本青年館大ホールにおいて開催する。出演団体は「北海道・東北」、「関東」、「近畿・東海・北陸」、「中国・四国」、「九州・沖縄」の5ブロックより各1団体ずつと在日の海外1団体。昨年に引続き当協会で開催している「東日本大震災～郷土芸能復興支援プロジェクト」の一環として東日本大震災の被災地より招聘する復興支援枠は、「北海道・東北」ブロックで兼ねることとする。今年度は新たな試みとしてかつてこの大会に出演した、子ども達が青年となって活躍している2団体を招聘して合計8団体が出演の交流公演を行う。各ブロックの出演団体は、全国の都道府県教育委員会より子どもを中心とした民俗芸能の活動をしている団体を推薦して頂き、選考委員会において選出した。

<内容>

全国各地より招聘した子どもたちが民俗芸能を披露する。

<出演予定団体>

- 北海道・東北ブロック 福島県南相馬市【復興支援枠】
「鳥崎の子供手踊」 鳥崎子供手踊保存会
- 関東ブロック 茨城県土浦市
「田宮ばやし」 田宮ばやし保存会
- 近畿・東海・北陸ブロック 愛知県豊田市
「旭町の棒の手」 敷島こども棒の手(三河旭棒の手保存会)
- 中国・四国ブロック 徳島県名西郡神山町
「阿波人形浄瑠璃芝居」
神山町立神領小学校 学童保育所「すだち座」
- 九州・沖縄ブロック 長崎県五島市
「狩立オネオンデ踊」 狩立オネオンデ保存会
- 第3回大会出演の青年団体 秋田県由利本荘市
「本海獅子舞番楽」 猿倉番楽保存会
- 第5回大会出演の青年団体 大分県由布市
「庄内神楽」 庄内原神楽保存会
- 在日海外団体 カンボジア
「カンボジアの伝統舞踊」

(2) 全国地芝居サミット

今年度は第23回と第24回の2回、開催自治体との共催で行う。

①『第23回全国地芝居サミット in 神戸』を4月19日(土)、20日(日)に、兵庫県神戸市北区の上谷上農村歌舞伎舞台、下谷上農村歌舞伎舞台と六甲山ホテルに於いて開催する。

4月19日(土) 会場:上谷上農村歌舞伎舞台、六甲山ホテル
歌舞伎上演、講演会、シンポジウム、交流会

4月20日(日) 会場:下谷上農村歌舞伎舞台
歌舞伎上演、サミット宣言

次回開催地紹介「新潟県魚沼市」

はことら座「鳴る神」、箱登羅たから歌舞伎「新口村」、神戸
すずらん歌舞伎「伊勢音頭恋寝刃」、甲緑子たから歌舞伎
「創作子供歌舞伎」、南光町子供歌舞伎「三番叟」、みおつ
くし歌舞伎「文七元結」

②『第24回全国地芝居サミット in 魚沼』を11月29日(土)、30日(日)に、新潟県魚沼市の小出郷文化会館に於いて開催する。干溝歌舞伎、塩沢歌舞伎他の出演を予定。

(3) 全国獅子舞フェスティバル

平成27年度開催に向けて関係各機関と調整を行う。

(4) 昭憲皇太后百年祭

明治天皇の皇后でありました昭憲皇太后が崩御されて、平成26年4月11日に百年目を迎える。その記念催事として、東日本大震災後の現在も復興がままならない福島県を中心に、岩手県、宮城県の郷土芸能を招聘して、明治神宮で奉納し、広く一般にも公開する。

開催期日:平成26年4月5日(土)、6日(日)

会場:明治神宮境内(御本殿前石畳及び原宿口特設舞台)

出演団体:

- ①岩手県上閉伊郡大槌町「吉里吉里鹿子踊」吉里吉里鹿子踊り保存会
- ②宮城県石巻市「寺崎のはねこ踊」寺崎はねこ踊り保存会
- ③福島県二本松市「石井の七福神と田植踊」石井芸能保存会
- ④福島県伊達郡川俣町「山木屋太鼓」山木屋太鼓
- ⑤福島県耶麻郡磐梯町「会津赤枝彼岸獅子」赤枝青年会
- ⑥福島県双葉郡浪江町「標葉神社の浦安の舞」標葉神社浦安の舞保存会
- ⑦福島県双葉郡浪江町「請戸の田植踊」請戸芸能保存会

(5) かながわ伝統芸能祭 地芝居2015

主催者である「かながわ伝統芸能祭実行委員会」より制作委託を受けて、神奈川県内の地芝居団体による公演と地芝居ワークショップを開催する。

出演団体等については、平成26年度中に「かながわ伝統芸能祭実行委員会」において決定する。

開催期日(予定):平成27年3月

会場:神奈川県立青少年センター大ホール

2. 指導者、保存団体の育成

(1) 第2回伝統文化継承フォーラムの開催

平成26年8月6日(水)日本青年館中ホールにおいて開催する。

郷土芸能の指導者による事例発表や有識者によるパネルディスカッション等を通して、地域の郷土芸能の指導者及び保存団体が次世代へ繋げていく方策を探る。

(2) 東日本大震災「郷土芸能復興支援プロジェクト」

昨年度に引続き、東日本大震災によって甚大な被害を受けた岩手県、宮城県、福島県の東北3県を中心として、被害を受けた郷土芸能の復興のための支援プロジェクトを行う。広く一般に支援金を募り、指定文化財の有無に関らず支援を行っていく。支援金の配賦などについては、郷土芸能復興支援プロジェクト委員会で決定していく。

3. 情報の収集及び提供

(1) 会報発行

会員及び関係機関等から全国各地の郷土芸能の情報を収集し、会報に掲載して広く一般に公表する。

年4回の発行。発行部数1,300部。

(2) 情報の収集及び提供

会員、民俗芸能関係者及び関係機関等から全国各地の郷土芸能の情報を収集し、ホームページ上で掲載して広く一般に公表する。

(3) 映像の収集と活用

「郷土芸能ストリーム・ビデオライブ」

郷土芸能の上映会とそのインターネット配信を通じて、日本全国の地域コミュニティと密接に結びついている「郷土芸能」を若い世代を中心に発信し、郷

土芸能に接する機会を広げることで、理解を深め、サポートする層の増進を図る。

開催日時: 奇数月の第2水曜日(予定)

4. 出版物の発行

郷土芸能の振興に寄与する出版物の発行に関する調査研究を行う。

5. 国際交流事業

郷土芸能の国際交流事業の推進に関する調査研究を行う。

6. 顕彰

全郷芸入会5年目と10年目の継続会員に対して感謝状を贈る。また、個人の活動に対して功労賞を贈る。

7. 調査研究

「まつり研究会」の開催

まつり研究会を1ヶ所で開催する。開催地域、対象「まつり」、開催日等については今後検討していく。募集はインターネット等を活用し、若い世代から幅広い世代に発信する。

8. 郷土芸能の振興・発展

様々な機会をとらえ郷土芸能の振興・発展に寄与することを目的とする事業を行う。